

IT経営成熟度診断

希望企業を募集中！（診断は無料です。）

企業を取り巻く経営環境の激変は企業に多くの経営課題を突き付けています。特に外部経営環境の変化は企業経営にとって「脅威」ではありますが、同時に新しい「事業機会」を生み出しています。企業にとっては、その外部経営環境の変化をしっかりと見極め、取り組むべき“重要経営課題”を明確にすることが大切です。

IT経営成熟度診断とは、（独）情報処理推進機構（IPA）が作成した“IT経営成熟度診断ツール”を利用して、専門ファシリテータであるITコーディネータの支援により、最優先で取り組むべき自社の“重要経営課題”を自己診断することをいいます。

“IT経営成熟度診断ツール”を活用した当事業のメリット

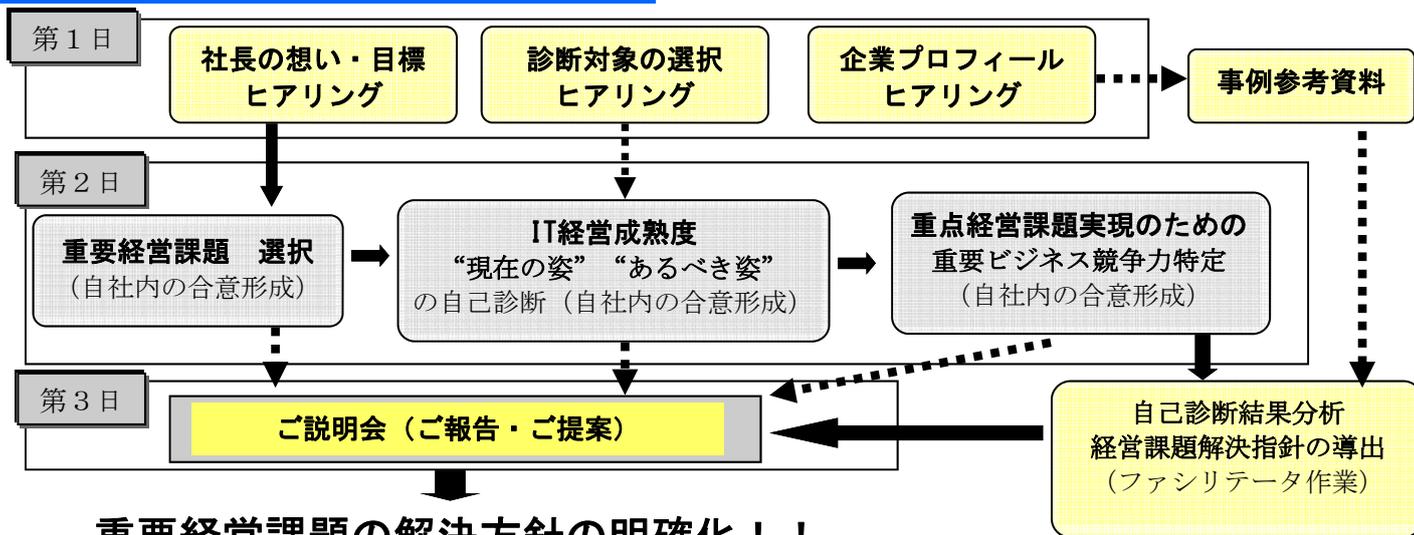
IT経営成熟度診断ツールの特徴

◆短時間で（訪問時間延べ8時間程度）で経営幹部の方の「想い」や「合意事項」から“IT経営”対応の実力（成熟度）診断ができる新しいタイプの日本版診断ツールです。

得られるもの

- ①経営方針、経営戦略に対する**経営陣の合意形成**
 - ・取り組むべき重要経営課題の自己診断による絞込と合意形成
 - ・自社の成熟度の自己診断（“強み” “弱み” 分析）による合意形成
- ②**経営課題の解決方針（人間系・IT系）の提示**
 - ・「何から始めるのが良いか」の指針をITコーディネータがご提案します。

IT経営成熟度診断の流れ



重要経営課題の解決方針の明確化！！

- 実施内容
- 1日目：経営目標、経営者の想いの確認。診断対象範囲の選択。
 - 2日目：重要経営課題の選択成熟度診断。
 - 3日目：ITコーディネータの分析結果を報告。質疑応答。

※ITコーディネータとは、中小企業の経営者の立場に立って経営とITの橋渡しを行い、経営に役立つIT投資を推進・支援するプロフェッショナルです。

実施及びお申し込みなどにつきましては裏面をご覧ください

